

タイトル (活動概要)	43「いいとこみ〜つけ」で ビー玉いっぱいにしてよう!	アプローチ (関連する力)	「自分づくり」③ 「仲間づくり」⑬ ⑭		
タイミング (実施時期)	新学期、仲間同士の関係を作り 始める段階から	活動 場所	教室	所要 時間	5分程度
対象学年	幼・ 小低 ・小中・小高 中1・中2・中3・高	対象 規模	学級	活動 場面	帰りの会
活動の ねらい	<p><背景>被受容体験により不足から、自分に自信をもって行動することができない児童が目立つようになってきた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いのよさを伝え合うことで自己への肯定的な感情を育てる ・仲間のよさに注目することにより他者理解を深める 				
準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ビー玉 ・透明な空き瓶（増えていく様子が見えるものがのぞましい） 				
学 習 ・ 活 動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今日一日をふり返り、みんなのために、だれがどんなことをしていたか発表しよう</p> </div>					
2 主活動 <ul style="list-style-type: none"> ・いいことを見つけた人は、前に出て並ぶ ・出てきた順に自分の見つけたよさを発表し、ビー玉を入れる (例)「〇〇さんは、△△さんが困っているのを見て、助けてあげました」 ・ビー玉を入れたら、席に戻り、他の友達の発言を聞く ・並んだ全員がこれを繰り返していく 		<ul style="list-style-type: none"> ・帰りの会のプログラムに入れ、日常的に行う ・普段からよく友達を見ていないと言えないような内容が出てきたときは大いにほめる ・ビンがビー玉でいっぱいになったら、何をするかも決めることにするという、期待感ももたせる 		<ul style="list-style-type: none"> ・ビー玉 ・透明な空き瓶 	
3 ふり返り <ul style="list-style-type: none"> ・「よさを伝えているとき、伝えてもらっているとき、あなたはどんな気持ちでしたか」 		<ul style="list-style-type: none"> ・友達がいいなと思って伝えてくれたことをしっかり受け止めたかどうかもふり返るようにする 			
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり発表してもらえない子がいた場合は、教師が発表する人になって全員で発言し、ビー玉を入れる ・友だちの良さに気づいたこと、友だちが伝えてくれた自分自身の良さに気づくことの大切さをその都度伝える ・行事などの取組に限定して行うことも、意欲を喚起する方法として効果的 				